

旧荒田商会

1935年、アールデコ様式で荒田商会の本店事務所が建てられました。左右対称に配置された白い石によって四角形の2階建て建物の美しいラインが強調されています。アーチ型をした石造のエントランスは厳密な直線的デザインと唯一異なる点です。

この建物は、高橋倉庫や嶋谷倉庫と中庭でつながっています。外装は元の状態に修復され、小樽芸術村のステンドグラス美術館の入り口になっていて、2階は小樽芸術村ミュージアムカフェとして使われています。

28歳のときに福井県から小樽に移住してきた荒田太吉（1877年-1965年）は、当初海産物の取引を行い、その後、海運業に手を広げました。この建物は海岸を埋め立てた直後、海の目の前に建てられ、海運会社の管理事務所として機能していました。